

県内図書館紹介

江刺市立図書館



1. 概要

これまでの図書館は昭和49年に開館したもので、老朽化が進んだことなどから、時代のニーズにあった新館の建設が望まれていました。そして、待ちに待った新館が平成16年7月29日、江刺市役所の隣に江刺市生涯学習センターとの複合施設としてオープ

ンしました。庁舎とはカルチャーモールで繋がっており、2階部分の吹き抜けと全面ガラス張りにより、とても開放的な空間になっています。

2. 紹介

図書館部分の面積は約1,140平方メートル、蔵書可能冊数は約12万冊で、オープン時は開架図書約8万冊、視聴覚資料約1500点でスタートしました。新館では図書館システムを導入したほか、旧館にはなかった「おはなしコーナー」や「視聴覚ブース」、多くの「学習コーナー」を設けたことで、子供から高齢者まで自由に学習・調査・研究ができる施設となっています。また、江刺にゆかりのある「川端康成コーナー」を設け、約300点の関係資料も展示しております。

開館したばかりでまだまだサービスの行き届かない点もありますが、市民に親しまれる図書館となるようスタッフ一同努力していきたいと思ひます。

前沢町立図書館

1. 図書館としてスタート

今年4月、私たちの町に待望の図書館が誕生しました。この3月まで前沢公民館図書室として活動していた施設を図書館として運営していくことになったものです。職員、開館時間など運営体制を一新してのスタートでした。

2. 利用しやすくリニューアル

開館から2ヶ月後の6月1日から約1ヶ月間を臨時休館とし、施設の一部改修と書架等の整備を行いました。

図書館とは言っても、元々は昭和38年に体育館として建てられたもので老朽化は否めませんが、絵本の部屋・地域資料室・視聴覚コーナーの設置、書架の増設、資料の整備等により、機能の向上を図ることができました。

7月3日のリニューアルオープンの日には予想を上回る来館者があり、多くの方々に「明るくなった」「利用しやすくなった」と喜んでいただくことができました。体育館当時のままの床板は、昔懐かしい温もりを醸し出しています。特に特徴として挙げられるのは「絵本のへや“わくわく”」です。公民館時代は集会室として使用していた40畳余りのタタミの部屋を活かし、赤ちゃんから大人までゆったりと絵本を



楽しむことができる部屋になっています。開館以来、家族や友達同士で楽しそうに利用する姿が見受けられます。

3. 親しまれ、信頼される図書館を目指して

図書館として第一歩を踏み出しましたが、その役割を充分に果たすためには、施設や資料の整備、図書館電算システムの導入など、解決しなければならない課題がたくさんあります。先進的な図書館の活動に学びながら、町民に親しまれ信頼される図書館を目指し、今後さらに努力を重ねていきたいと考えています。